

## 第3章 史跡の概要

### 第1節 指定に至る経緯

熊本市の西南戦争遺跡は、明治10年（1877）に起きた西南戦争で激戦地となった田原坂本道とその周辺で構成された史跡である。第1章第1節や第2章第3節に記載したように、本史跡の顕彰活動は西南戦争終結直後から現在に至るまでの長きにわたって、地域住民や遺族による戦没者の慰霊や周知啓発、旧植木町時代の公園整備など官民を越えた取組が続けられてきた。調査が始まる以前から史跡周辺では小銃弾や四斤砲弾の破片、金属製品等の西南戦争時の遺物が採取されており、遺跡の残存状態が良好であることが明らかであった。

このような中で、平成8年（1996）に文化庁から通知された「近代遺跡調査実施要項」、平成15年（2003）11月の文化庁記念物課長から植木町教育長あての「近代遺跡（軍事に関する遺跡）の詳細調査について」の依頼に基づく文化庁調査官の調査の実施、平成20年（2008）6月の文化庁調査官の現地視察等を経て、平成21年度から田原坂周辺の本格的な調査が実施された。

調査は主に発掘調査、金属探知機調査、文献調査、地元住民への聞き取り調査であり、それぞれの調査成果の概要は『熊本市の文化財第5集 田原坂』（熊本市教育委員会、2011年）、『熊本市の文化財第15集 田原坂Ⅱ』（熊本市教育委員会、2012年）にまとめ、平成25年（2013）12月に史跡指定に向けて国への意見具申を行った。指定後も調査は継続し、その成果は『熊本市の文化財第30集 田原坂Ⅲ』（熊本市教育委員会、2013年）、『熊本市の文化財第39集 田原坂Ⅳ』（熊本市教育委員会、2014年）、『熊本市の文化財第48集 田原坂Ⅴ』（熊本市教育委員会、2015年）にまとめ、さらに総括報告書として『熊本市の文化財第127集 西南戦争遺跡―田原坂総括調査報告書』を令和6年度に刊行している。

### 第2節 調査研究の概要

#### （1）概要

西南戦争遺跡は周辺がミカン畑として造成されているものの、景観は当時と大きな変化がなく田原坂本道も一部拡幅や法面保護がなされているが、概ね「遺跡の保存状態が良好」である。しかし、「遺跡にかかわる建造物、遺構、敷地等が良好に保存されており、学術的価値が高いこと」という点では「田原坂の戦い」が従来伝聞や文字資料、地形や地勢のみに大きく頼っていて調査不足の部分があり、具体的かつ個別的な実態が不明で学術的価値付けに欠けるきらいがあった。そこで、まず周辺全域を踏査して遺構や遺物の分布状況を調査し、地域住民への聞き取りも実施して西南戦争遺跡詳細分布地図を作成した。その後、後世の開墾などの土地改変がない場所を選定して、金属探知機調査やトレンチ調査などを実施した。

遺構は主に西郷軍陣地の存在を示す塹壕跡や政府軍砲弾の着弾痕などであり、それらの位置を特定して規模や形態、構造、内容、対峙する方向、遺物の出土状況、小銃弾や砲弾がどの方向から撃ち込まれたものか等の情報を明らかにした。遺物は薬莢や雷管などその場所で銃を発砲したことが明確に推定できるもの、あるいは集中して出土した小銃弾などである。小銃弾や砲弾片は戦場であることを示す重要な遺物で、付近に陣地があることが想定できるが、それらのみでは直接陣地の位

置は示さないと考えられるため慎重に精査を行った。

## （２）発掘調査歴

### ①第1次調査 平成21年度 調査主体：植木町教育委員会

田原坂を中心とする一帯の西南戦争遺跡の分布調査と聞き取り調査、および金属探知機調査と三の坂の発掘調査を実施した。結果、西南戦争遺跡の広がりや内容、小銃弾の集中箇所などが判明し、西郷軍陣地が推定できるようになった。本調査の成果は次年度に『熊本市の文化財第5集 田原坂』として刊行した。

### ②第2次調査 平成22年度 調査主体：熊本市教育委員会（以下同じ）

田原坂公園を中心として発掘調査、金属探知機調査と自然科学土壌分析を実施した。発掘調査では西郷軍の塹壕跡を確認し、遺物も小銃弾、薬莢のほか軍服金ボタンなどが多数出土した。田原坂の発掘調査によって塹壕が確認できたのは初例で、西郷軍が多種類の小銃を使用していたことが明らかになった。また、土壌分析では稲藁使用の痕跡が検出され、古写真に写る俵などを用いた胸牆構築の状況が推定できる結果が得られた。本調査の成果は『熊本市の文化財第15集 田原坂Ⅱ』として刊行した。

### ③第3次調査 平成23年度

前年度に引き続いて田原坂公園と田原坂本道二の坂付近の発掘調査、金属探知機調査と自然科学による土壌分析を実施した。田原坂公園の発掘調査ではトレンチから松根が出土し、当時の地面と植生が判明した。また、明治13年（1880）の崇烈碑建設に伴う土取り場遺構が確認され、壁面には工具痕が残り、石灰岩破片も出土した。二の坂付近の調査は金属探知機調査のみであったが、調査地全体から小銃弾と薬莢を主とした西南戦争関連遺物が非常に多く採取された。薬莢集中箇所から政府軍兵士による発砲地点が特定できる、当時の戦闘の様子を彷彿とさせる分布状況であり、後世にほとんど手が加えられていないと考えられる地形と相まって極めて良好に戦跡が残存していた。本調査の成果は『熊本市の文化財第30集 田原坂Ⅲ』として刊行した。

### ④第4次調査 平成24年度

前年度から引き続いて田原坂公園と田原坂本道三の坂付近の発掘調査、金属探知機調査を実施した。三の坂調査地では平成21年度調査トレンチを再調査し、下部から中世に遡るとみられる古道を確認した。本調査の成果は『熊本市の文化財第39集 田原坂Ⅳ』として刊行した。

### 第3節 指定の状況

#### (1) 史跡名・所在地等

史 跡 名	西南戦争遺跡
所 在 地	熊本県熊本市北区植木町豊岡字栗ノ木平 1585 地先外 35 筆等
指定年月日	平成 25 年 3 月 27 日
面 積	27,586.00 m <sup>2</sup>
告 示 番 号	平成 25 年 3 月 27 日付け文部科学省告示第 39 号

#### (2) 指定理由文とその範囲

西南戦争遺跡は、明治十年（一八七七）、鹿児島士族層を中心とする士族が政府に反旗を翻し、九州中南部一帯を舞台に行われた国内最大・最後の内戦にかかわる遺跡である。明治六年の征韓論の政変以後、一部士族が佐賀・熊本・秋月・萩で反乱を起こしたが、これらの反乱の最後として、明治十年二月、私学校生徒等が西郷隆盛を首領として蜂起し、熊本等の士族や徴募兵も呼応した。西郷軍は、熊本城の政府軍との攻防戦、田原坂の激戦で敗北し、大分・宮崎・鹿児島を敗走、九月二十四日に西郷が城山で自刃して収束した。明治政府が近代国家としての権力基盤を確立するなど、日本史上著名な戦争である。

このうち、豊前街道や三池往還・吉次往還が通る熊本県北部の熊本市植木・玉東町地域では、熊本城援軍のため南下する政府軍と、これを阻止しようとする西郷軍が、二月下旬から四月初めにかけて激突した。政府軍は木葉に本営を設置し、三月四日より、西郷軍が防塁等を築いて籠もる田原坂に進攻を開始した。政府軍は二度に及ぶ総攻撃をかけたが成果が上がらず、田原坂の西側の二俣台地に砲台を築き、側面から砲撃を加えて西郷軍に打撃を与え、三月二十日の総攻撃でようやく田原坂を陥落させた。この間、田原坂を見渡すことができ、二俣砲台等に近い横平山（標高一四四メートル）は、両軍による争奪の場となり、吉次往還では、三ノ岳と半高山に挟まれた吉次峠において両軍の激戦が行われた。田原坂陥落後も植木では市街戦が続いたが、ついに西郷軍は敗退、四月十四日には政府軍が熊本城に入城し、西郷軍は人吉に落ち延びた。戦時、政府軍は負傷者を収容し、治療する施設として正念寺等に大綱帯所を設置した。戦没した政府軍兵士等は周辺に仮埋葬され、その後高月や宇蘇浦等の官軍墓地に埋葬された。明治十三年には、陸軍省によって、現在の田原坂公園内に崇烈碑が建立された。

今回指定を行うのは、田原坂古戦場（熊本市域）、二俣砲台跡、横平山古戦場、半高山・吉次峠古戦場、正念寺、高月官軍墓地、宇蘇浦官軍墓地（以上、玉東町域）である。玉東町および植木町（現・熊本市）教育委員会では、平成二十一～二十四年度にかけて発掘調査、文献調査等を実施した。田原坂古戦場は、田原坂本道（延長約一一六〇メートル）を中心とする戦場跡である。田原坂入口の中谷川に架かる豊岡の眼鏡橋は、享和二年（一八〇二）築造の石製の単一アーチ橋である。坂は一ノ坂口で標高二五・九メートル、三ノ坂上で一〇六・九メートル、道幅四メートル程度であり、旧状をよく残し、道は幾度も屈曲し、昼なお暗く、両壁が高い凹道が続く場所である。三ノ坂上は戦争当時、西郷軍が布陣した場所である。現在、田原坂公園として整備されているが、地形の改変を受けていない部分も多く、当時の陣地構築状況等を知る上で重要である。また、崇烈碑は石灰岩製で、

台座を含めた総高は六メートルである。撰文・篆額は征討総督・有栖川宮熾仁親王で、碑文には戦争の経緯、田原坂激戦の様子が記されている。

二俣の瓜生田・古閑砲台跡は、田原坂と谷を挟んだ西側の台地上に所在する。金属探知機を用いた表面探査の結果、大砲を発射させる際に使用する摩擦管等が出土した。瓜生田砲台では、砲台跡の硬化面や大砲の轍と考えられる遺構、廃棄土坑等を検出した。横平山古戦場では、山の北側斜面一帯で銃弾や薬莢等が多数出土した。山頂の塹壕跡からは多数の薬莢が出土し、政府軍・西郷軍の戦闘の具体相が明らかとなった。半高山・吉次峠古戦場においても銃弾・薬莢・砲弾等の遺物を多数確認し、山頂部では戦闘に伴い築造された土抗状の掘り込み・盛土遺構を検出した。

正念寺は、承応三年（一六五四）創建とされる真宗寺院である。戦時、政府軍の大綱帯所として負傷者の治療が行われ、境内に戦死者の仮埋葬も行われた。本堂・庫裏等は建て替えられ旧状をとどめていないが、戦争当時の山門が三池往還に面して現存し、銃弾の痕跡も残る。戦争の傷跡をとどめる大綱帯所の遺構として貴重である。

高月官軍墓地は、正念寺の西側、三池往還沿いに立地し、九八〇柱を葬る墓地である。天草砂岩製の墓石に、植木・玉東町地域で戦死した兵士の階級、氏名、出身地、所属部隊、戦没地点を刻む。宇蘇浦官軍墓地は木葉山の中腹に位置し、三九九柱を葬る墓地である。基本的には高月墓地と同様であるが、安山岩製の墓石による警視局六四柱の戦死者も含む。

このように、西南戦争遺跡は、わが国最後の内乱として、明治政府が近代国家としての権力基盤を確立するなど、日本史上著名な戦争にかかわる遺跡である。発掘調査等によって、田原坂古戦場をはじめとする各遺構が良好に遺存することが確認された。近代の政治・軍事を知る上で重要である。よって、史跡に指定し保護を図ろうとするものである。

（『月刊 文化財』平成25年2月号（593号）より抜粋）

### （3）指定地の現状

指定地は現在すべて市有地であり、田原坂本道は市道、田原坂公園は都市公園、豊岡の眼鏡橋は橋梁として熊本市が管理し、市民の利用に供している。

田原坂本道周辺の地形は当時から大きな改変は受けておらず、旧状を比較的に残している。道路の全長は約1,160 m、道幅約4 m、標高は一ノ坂口25.9 m、三ノ坂上の崇烈碑付近106.9 mで比高差は81 mである。複数のカーブがあり、途中で両壁が高い凹道が続き昼間でも薄暗い場所がある。地理的環境によって歴史的環境が出現した特徴的な場所であり、地理と歴史が密接不可分の関係にあることを明確に示す場所である。

### （4）計画対象範囲の現状 （※追加指定検討範囲を含む）

本計画では西南戦争遺跡指定地とその関連地を対象とする。指定地の現状については前項で記述しているため、本項では指定地以外の各対象地の現状について以下に示す。

#### ○田原坂および田原坂公園近隣地

指定地の近隣では過去に調査が実施され、西南戦争の遺構・遺物などが確認されている。具体的



な調査地は北平古道調査地、田原城・田原寺跡調査地、みかん小屋調査地、熊本市有地（北）および（南）調査地、田原熊野座神社調査地などである。これらの調査地では小銃弾や雷管などの戦時遺物や塹壕跡などの戦時遺構が良好に残り、西南戦争当時の様子を明確に把握することができる。田原熊野座神社調査地では境内樹木に金属反応がある立木（おそらく銃砲弾が刺さったまま内包されている）が複数存在し、石灯籠や本殿などにも西南戦争時の弾痕が残り当時の激戦の様子を伝えている。

#### ○七本官軍墓地

七本官軍墓地は熊本市北区植木町轟字多尾 2105 に所在し、昭和 58 年（1983）1 月 18 日に熊本県の史跡に指定されている。敷地全体は国有地であり熊本市が無償貸し付けを受け都市公園として管理を行っている。明治 11 年（1878）8 月に建設されて以来、当時の姿をほぼ留めているが、砂岩製の墓石は全体的にひび割れや破損が目立ち、近年は平成 28 年熊本地震や悪質な倒壊行為によって大きな毀損を受けたものも多い。当該地には西南戦争で戦死した陸軍将兵 276 名、警視隊士 14 名、軍夫 10 名、計 300 名が埋葬されている。敷地面積は 1,383 m<sup>2</sup>で周囲を石積みで囲み、その上にさらに石柵がめぐらせてある。

川口武定著『従征日記 卷二』によれば「衆目ヲ愕シ、或ハ怯心ヲ生スルノ恐レ」から人目につきづらい場所に建設したと思われ、現在も七本官軍墓地の周辺は農地および竹林であり、主要道路からも離れている。

#### ○明德官軍墓地

熊本市北区明德町 1277 番 4 に所在し、昭和 52 年（1977）10 月 11 日に熊本県の史跡に指定されている。七本官軍墓地と同様、敷地全体が国有地であり熊本市が無償貸し付けを受けて管理を行っている。明治 11 年（1878）に竣工したとされ、敷地は周囲の法面を含めて面積約 374 m<sup>2</sup>、周囲の民地・道路よりも約 1.0 ～ 1.4 m 高く、北辺を正面とする。墓石は尉官将校墓 2 基、下士官墓 17 基、兵卒墓 98 基、軍夫墓 5 基の合計 122 基が現存する。七本官軍墓地と同様、主要道路から離れたところに位置し、周辺は住宅地になっている。

#### ○寄鶴官軍墓地

熊本市北区明德町 981 番に所在し、明德官軍墓地とともに昭和 52 年（1977）10 月 11 日に熊本県の史跡に指定されている。墓地は南面し、現状で標柱 1 基、墓石 1 基が敷地内に存在する。標柱は安山岩製、頭部角錐形の角柱で正面に「明治十年之役戦死者墳墓地」、背面に「明治廿三年三月建設 熊本縣」と刻されている。墓石も安山岩製で頭部角錐形の角柱、正面に「軍夫三十名之墓」、向かって右側面に「明治十年之役戦死」、向かって左側面に「大正十年再建 熊本縣」と刻されている。敷地全体は民有地であり、凝灰岩板石と安山岩縁石による敷石が施され、周囲はコンクリート柱 16 本とこれを繋ぐ鉄製鎖によって区画されている。七本官軍墓地、明德官軍墓地と同様に主要道路から離れたところに位置し、周辺は墓地および畑地になっている。

#### ○田原熊野座神社

熊本市北区植木町豊岡 2177 番に所在する、未指定の関連地である。当該地は山鹿方面と熊本方面を結ぶ脇往還に面し、南に進めば田原坂本道と合流する。記録類によれば「田原坂北之手松山台場」あるいは「小松山台場」などと呼ばれていたとされる。付近一帯は田原坂の戦いのはじめごろから「宮山争奪戦」の舞台となった。境内から多くの遺物（小銃弾、薬莢など）が見つかっており、境内樹木には銃砲弾が刺さったまま内包され、石灯籠や本殿などにも西南戦争時の弾痕が残る。

#### ○七本柿木台場薩軍墓地

熊本市北区植木町轟 2644 番に所在する、未指定の関連地である。戦後、周辺の側溝や畦畔に仮埋葬されていた 300 名以上の遺体を改めて西郷軍七本柿木台場跡にまとめて埋葬したものである。その後、明治 16 年（1883）に七回忌を期した鹿児島県有志による改葬事業により多くの遺骨は回収されたものとみられ、現在は都市公園として整備・利用されている。

### 第4節 指定後の調査成果

西南戦争遺跡は指定後も継続して調査を行っている。調査の対象は主に指定地に関連する周辺地および遺跡であり、西南戦争遺跡の広がり調査するものである。各調査の詳細は『熊本市の文化財第 127 集 西南戦争遺跡 田原坂総括調査報告書』に譲り、ここでは概要のみ記載する。

#### （1）発掘調査等

平成 25 年度には、西南戦争遺跡の田原坂本道一の坂の南西に存在する岡林遺跡で発掘調査を行った。調査では合計 29 本の試掘坑を設定したが遺構は確認されず、遺物も極めて少量であり、調査地全体がミカン畑造成により大きく削平、攪乱を受けている状況が確認された。未指定の関連地である熊野座神社では、敷地の境界確認を行い調査地の地形測量図を作製した。県指定史跡の七本官軍墓地では、地形測量図作製および詳細平面図の作製を行った。また、指定地内に所在する崇烈碑の実測図作製を行った。

平成 26 年度には、田原熊野座神社で金属探知機調査と遺物取り上げ、境内樹木の調査、再建社殿の弾痕調査を行った。田原坂本道三の坂に接続する北平古道の調査では、現況測量調査、金属探知機調査、トレンチ調査を実施した。調査の結果、遺物が多数出土し本調査地が西南戦争における重要な場所であったことが位置づけられた。七本官軍墓地では各墓石の計測と記銘調査を行った。

平成 27 年度には、みかん小屋周辺調査地において金属探知機調査と遺物取り上げを行った。田原熊野座神社では、境内樹木の調査を実施し樹木に突き刺さった銃砲弾の検出を行った。熊本市有地（北）および熊本市有地（南）の調査および田原城跡・田原寺跡調査では、金属探知機調査および遺物取り上げを行った。

平成 28 年度には、田原城跡・田原寺跡調査では金属探知機調査、遺物取り上げ、トレンチ調査、および周辺の墓石調査を行った。七本官軍墓地および明徳官軍墓地では熊本地震の被害状況確認と応急復旧を行った。

平成 29 年度には、明徳官軍墓地で墓石記銘調査を行った。北平古道調査で金属探査、遺物取り

上げ、トレンチ調査を行った。

## (2) 文献調査

平成21年度から継続して文献調査を実施している。「田原坂の戦い」の状況については様々な文献に記載があり、17日間にわたる激戦の様子が描かれている。ここでは文献より得た「田原坂の戦い」の概要と推定戦闘地及び調査地についての一覧を『熊本市の文化財第127集 西南戦争遺跡 田原坂総括調査報告書』より転載する。

表■ 田原坂の戦い状況一覧

3月4日

政府軍		推定戦闘地及び調査地	薩摩軍	
戦闘地等	部隊		部隊	戦闘地等
豊岡村左側を進む 田原坂 坂左側から邊場山(平原山) <sup>(1)</sup> 下を通して豊岡村へ向かう 田原坂本道 左方の山谷から進入 田原坂本道 左方に向かう 田原坂本道 豊岡村に向かい山上の薩壘に迫る	近歩1連1大1中左小隊 近歩1連1大3中  熊鎮14連2大2中左小隊 熊鎮14連2大4中 熊鎮14連2大4中左小隊	豊岡台地北部一帯 調査地 北平古道 田原城跡・寺跡 熊野座神社	薩4大7小 <sup>(4)</sup> 薩5大8小 <sup>(5)</sup> 薩6大1小 薩6大3小 薩6大4小	田原坂上の小学校後ろ松山 熊野座神社、宮山 豊岡本村背後の山中 豊岡本村背後の山中 豊岡本村背後の山中
田原坂 坂道を進む 二俣より田原坂へ偵察のち接戦 田原坂本道 田原坂本道 田原坂本道 正面、坂上に迫る	近歩1連1大2中 熊鎮14連2大3中の一部 熊鎮14連3大3中 熊鎮14連3大4中 熊鎮14連3大4中左1半隊	田原坂本道北側一帯 調査地 みかん小屋周辺 本道二ノ坂 谷村計介碑 市有地(北) 市有地(南)	薩4大7小 薩5大1小 薩5大5小	田原本陣右翼 田原本陣右翼 田原本陣右翼
田原坂 右側に迂回し豊岡村に至る 田原坂 坂傍から横撃、1壘を奪う	近歩1連1大4中 近歩1連1大4中右小隊	豊岡台地北部一帯 田原坂本道北側一帯		
田原坂本道 坂下右方の薩壘を攻撃 田原坂本道 坂上右方高地より進入 二俣長窪間 谷を挟んで村端で対戦	熊鎮14連3大1中 熊鎮14連3大2中 近歩1連2大2中 <sup>(2)</sup>	豊岡台地中央部一帯 調査地 公園北半分 公園南半分 資料館下 舟底遺跡	薩1大8小 薩4大7小 薩5大5小 薩5大8小 薩6大2小 薩6大4小 <sup>(6)</sup> 薩6大6小 <sup>(6)</sup> 薩6大7小 <sup>(6)</sup>	田原
田原坂半腹 敵前250m 二俣村	東鎮豫砲1大右分隊 <sup>(3)</sup>	豊岡台地北部一帯 田原坂本道北側一帯 豊岡台地中央部一帯 豊岡台地南部一帯	薩砲兵1個半数 <sup>(7)</sup>	田原坂守備

政府軍		推定戦闘地及び 調査地	薩摩軍	
戦闘地等	部隊		部隊	戦闘地等
		豊岡台地南部一帯	薩 1 大 7 小 薩 2 大 9 小 薩 5 大 9 小 薩 6 大 5 小	田原坂左翼 (七本、轟方面)
			薩 1 大 6 小 薩 6 大 2 小 薩 7 大 11 小 佐土原 1 小 佐土原 2 小 熊本 3 小 <sup>(8)</sup> 熊本 7 小 <sup>(8)</sup> 熊本 9 小 <sup>(8)</sup>	七本      七本のち吉次
			薩摩 4 大 6 小 <sup>(9)</sup>	轟村

## 3月5日

政府軍		推定戦闘地及び 調査地	薩摩軍	
戦闘地等	部隊		部隊	戦闘地等
豊岡村 田原の左より進 撃 豊岡村 進入 薩軍左翼の嶮より攻撃	熊鎮 14 連 2 大 4 中  近歩 1 連 1 大 1 中右半隊 <sup>(10)</sup>	豊岡台地北部一帯 調査地 北平古道 田原坂城跡・寺跡 熊野座神社	薩 5 大 8 小 <sup>(12)</sup> 薩 5 大 5 小	田原坂北之手松山台場 田原本道右翼
田原坂 田原坂	熊鎮 14 連 3 大 4 中 熊鎮 14 連 3 大 2 中右小 隊	田原坂本道北側一帯 調査地 みかん小屋周辺 本道二ノ坂 谷村計介碑 市有地（北） 市有地（南）	薩 5 大 5 小左半隊 薩 5 大 8 小 <sup>(12)</sup>	田原坂本道 田原坂本道
長窪山麓 長窪山 右方の一高阜	近歩 1 連 1 大 2 中 近歩 1 連 1 大 4 中	豊岡台地中央部一帯 調査地 公園北半部 公園南半部 資料館下 舟底遺跡	薩 1 大 8 小 薩 4 大 7 小 薩 6 大 4 小 薩 6 大 6 小 薩 6 大 7 小 薩 1 大 6 小 <sup>(13)</sup> 薩 4 大 5 小	田原      長窪山麓、右方の一高阜 長窪山
二俣	中央分隊 (東豫砲 1 大) <sup>(11)</sup>	豊岡台地北部一帯 田原坂本道北側一帯 豊岡台中央部一帯 豊岡台地南部一帯		
		豊岡台地南部一帯	薩 6 大 2 小 薩 7 大 11 小 佐土原 1 小 佐土原 2 小 薩 4 大 6 小	七本    轟村



## 3月6日

政府軍		推定戦闘地及び 調査地	薩摩軍	
戦闘地等	部隊		部隊	戦闘地等
田原口 坂左の谷より進軍、薩塁3ヶ所を抜き追撃、一の宮社に放火し進む 田原坂左翼 田原坂左翼	近歩1連1大1中 <sup>(14)</sup>  大鎮9連2大3中 熊鎮14連3大1中1分隊	豊岡台地北部一帯 調査地 北平古道 田原坂城跡・寺跡 熊野座神社	薩5大8小 <sup>(18)</sup>	田原坂北之手松山台場
田原口 坂右に出る 田原坂本道 田原坂本道 田原坂本道 田原坂  田原坂  田原坂	近歩1連1大3中 大鎮9連1大1中 大鎮9連1大4中 大鎮9連2大1中 熊鎮14連2大2中左小隊 選抜銃卒（14連2大各中隊） 熊鎮14連3大各中隊	田原坂本道北側一帯 調査地 みかん小屋周辺 本道二ノ坂 谷村計介碑 市有地（北） 市有地（南）		
二俣口 長窪山薩塁に迫る （倉の台場…田原坂口横面） 二俣口 舟底山 田原坂右翼 田原坂右翼 田原坂右翼	近歩1連1大4中 <sup>(15)</sup>  選抜隊 大鎮8連2大1中 大鎮8連2大4中 大鎮9連2大2中	豊岡台地中央部一帯 調査地 公園北半部 公園南半部 資料館下 舟底遺跡	薩1大8小 薩4大7小 薩5大5小 薩5大8小 薩6大4小 薩6大6小 薩6大7小 薩7大11小 <sup>(19)</sup>	田原
			薩1大7小 薩2大7小 薩2大9小 薩5大1小 薩6大5小	田原方面
七本村、轟村 田原坂本道に近づく	近歩2連1大1中 <sup>(16)</sup>	豊岡台地中央部一帯 豊岡台地南部一帯		
二俣村	砲兵右分隊 （東鎮豫砲1大） <sup>(17)</sup>	豊岡台地北部一帯 田原坂本道北側一帯 豊岡台地中央部一帯 豊岡台地南部一帯		
		豊岡台地南部一帯	薩1大6小 薩6大2小 薩7大11小 佐土原1小 佐土原2小	七本
			薩4大6小	轟村

## 3月7日

政府軍		推定戦闘地及び 調査地	薩摩軍	
戦闘地等	部隊		部隊	戦闘地等
田原坂本道 左側山上の薩塁に迫る 田原坂本道 鉢割坂及びその右に進む 田原坂本道 北山から豊岡村に深入 小畑村に向かう 小畑村に向かう 小畑村に向かう	大鎮9連2大1中 大鎮9連2大2中 大鎮9連2大3中 近歩1連1大3中 広鎮11連1大3中 広鎮11連1大4中	豊岡台地北部一帯 調査地 北平古道 田原坂城跡・寺跡 熊野座神社	薩5大8小 <sup>(23)</sup>	熊野座神社（宮山）、 小松山台場（北手松山 台場）
田原坂本道 田原坂本道 林叢間潜進、路左右に進 む 田原坂 坂上激戦に応援 田原坂	近歩1連1大1中 別働狙撃2小、3小 熊鎮14連3大4中 熊鎮14連3大1中	田原坂本道北側 一帯 調査地 みかん小屋周辺 本道二ノ坂 谷村計介碑 市有地（北） 市有地（南）	薩2大7小 薩4大7小 薩5大8小 <sup>(23)</sup> 薩7大11小	田原本道 田原本道 田原本道 田原本道
田原坂本道正面 薩の左側を横撃 田原坂本道正面 近歩2連1大1中の左翼 田原坂本道正面 薩の左側を横撃 田原坂本道正面 近歩2連1大1中の援兵	近歩2連1大1中 <sup>(20)</sup> 近歩2連1大3中 <sup>(20)</sup> 別働狙撃1小 近歩1連1大4中	豊岡台地中央部一帯 調査地 公園北半部 公園南半部 資料館下 舟底遺跡	薩2大1小 薩2大2小 薩5大5小 薩6大4小 薩6大6小 薩6大7小	田原
二俣口 中久保 二俣口 右は長窪山の薩 軍 二俣口前面 右は長窪山の薩軍 二俣口前面 右は長窪山の薩軍	近歩1連1大1中 <sup>(21)</sup> 近歩1連2大2中 大鎮9連1大3中 大鎮9連1大4中			
田原口本道 二俣村	砲兵隊 （東鎮豫砲1大右、中央 分隊） <sup>(22)</sup>	豊岡台地北部一帯 田原坂本道北側一帯 豊岡台地中央部一帯 豊岡台地南部一帯		
田原坂右翼 攻撃兵 田原坂右翼 攻撃兵 田原坂右翼 攻撃兵 田原坂右翼 攻撃兵 田原坂右翼 攻撃兵 田原坂右翼 攻撃兵	近歩1連2大1中 近歩1連2大4中 東鎮1連2大1中 東鎮1連2大3中 東鎮3連2大2中 東鎮3連2大4中半隊	豊岡台地南部一帯	薩6大2小 薩7大3小 <sup>(24)</sup> 薩7大10小 <sup>(24)</sup> 佐土原1小 佐土原2小 熊本3小 熊本7小 熊本10小	七本
			薩1大6小 薩4大6小	轟村

## 3月8日

政府軍		推定戦闘地及び 調査地	薩摩軍	
戦闘地等	部隊		部隊	戦闘地等
田原坂左側 二俣口より進撃、田原坂 横面（倉の台場）、中央 台場（倉の台場左翼）、 小松山（宮山）	近歩1連1大4中 <sup>(25)</sup>	豊岡台地北部一帯 調査地 北平古道 田原坂城跡・寺跡 熊野座神社 田原坂本道北側一帯 調査地 みかん小屋周辺 本道二ノ坂 谷村計介碑 市有地（北） 市有地（南）	薩5大8小 薩2大1小 <sup>(29)</sup>	小松山（北手松山台場） 北手松山台場
田原坂正面 田原坂正面 田原坂 田原坂全面 長窪山に向 かう	近歩1連2大4中 別働狙撃隊1、2、3小 熊鎮14連3大4中 <sup>(26)</sup> 近歩1連2大2中	豊岡台地中央部一帯 調査地 公園北半部 公園南半部 資料館下 舟底遺跡	薩1大6小 薩2大2小 薩4大7小 薩5大5小 薩6大4小 薩6大6小 薩6大7小 薩7大3小 薩7大10小	田原
二俣	砲兵隊 （東鎮豫砲1大） <sup>(27)</sup>	豊岡台地北部一帯 田原坂本道北側一帯 豊岡台地中央部一帯 豊岡台地南部一帯		
田原坂右翼 援隊 二俣より本道へ進む	大鎮8連2大3中	豊岡台地中央部一帯 豊岡台地南部一帯		
田原坂正面 七本ノ原へ 進軍 田原坂右翼 攻撃兵 田原坂右翼 攻撃兵 田原坂右翼 攻撃兵 田原坂右翼 攻撃兵 田原坂右翼 攻撃兵 田原坂右翼 攻撃兵 田原坂右翼 攻撃兵 田原坂右翼 攻撃兵 田原坂右翼 攻撃兵 田原坂右翼 守線兵 田原坂右翼 守線兵 田原坂右翼 守線兵 田原坂右翼 守線兵 田原坂右翼 守線兵 田原坂右翼 応援兵 田原坂右翼 応援兵 田原坂右翼 応援兵 田原坂右翼 応援兵 田原坂右翼 応援兵	近歩1連2大3中 <sup>(28)</sup> 近歩1連2大1中 近歩1連2大4中 近歩2連1大1中 東鎮1連2大1中 東鎮1連2大3中 東鎮3連1大3中 東鎮3連1大4中 東鎮3連2大2中 東鎮3連2大4中半隊 近歩1連3大1中 近歩2連1大2中 東鎮3連2大3中 熊鎮14連2大4中 熊鎮14連3大4中1半 隊 近歩1連1大1小 熊鎮14連2大2中 熊鎮14連2大4中1小 熊鎮14連3大2中 熊鎮14連3大4中1小	豊岡台地南部一帯	薩6大2小 薩7大11小 佐土原1小 佐土原2小 熊本3小	七本
			薩4大6小	轟村

## 3月9日

政府軍		推定戦闘地及び 調査地	薩摩軍	
戦闘地等	部隊		部隊	戦闘地等
		豊岡台地北部一帯 調査地 北平古道 田原坂城跡・寺跡	薩2大6小 薩6大4小 薩6大6小	豊岡村守備 豊岡村守備のち春日村 豊岡村守備のち春日村
田原口より田原坂進撃 田原口より田原坂進撃 二俣口より田原坂へ進む 二俣口より田原坂へ進む 二俣口より田原坂攻撃 二俣口より田原坂攻撃 二俣口より田原坂攻撃 二俣口より田原坂攻撃 田原坂攻撃 田原坂攻撃 田原坂攻撃 田原坂攻撃 田原坂 近衛の戦線に加わる 田原坂	近歩1連1大1中 <sup>(30)</sup> 近歩1連1大3中 <sup>(30)</sup> 近歩1連1大2中 <sup>(30)</sup> 近歩1連1大4中 <sup>(30)</sup> 東鎮1連2大1中 東鎮1連2大4中 東鎮3連1大2中 東鎮3連1大3中 近歩2連2大1中 近歩2連2大2中 近歩2連2大4中 東鎮1連1大の2個中隊 熊鎮14連2大3中 <sup>(31)</sup>  (大鎮) 工兵2大1分隊 <sup>(32)</sup>	田原坂本道北側一帯 調査地 みかん小屋周辺 本道二ノ坂 谷村計介碑 市有地(北) 市有地(南) 豊岡台地中央部一帯 調査地 公園北半部 公園南半部 資料館下 舟底遺跡	薩2大1小 薩2大2小 薩4大7小 薩5大5小 薩6大7小 薩7大3小 薩7大10小	田原
二俣	砲兵1分隊 (東鎮豫砲1大) <sup>(33)</sup>	豊岡台地北部一帯 田原坂本道北側一帯 豊岡台地中央部一帯 豊岡台地南部一帯		
二俣口 二俣口 轟の薩軍を攻撃 轟の薩軍を攻撃 轟の薩軍を攻撃	東鎮1連2大3中 東鎮3連1大4中 近歩1連2大1中 <sup>(34)</sup> 大鎮9連1大1中 <sup>(34)</sup> 大鎮9連1大2中 <sup>(34)</sup>	豊岡台地南部一帯	薩6大2小 薩7大11小 佐土原1小 佐土原2小 熊本3小 熊本7小 <sup>(35)</sup>	七本
			薩1大6小 薩2大1小半隊 薩2大2小半隊 薩4大6小	轟村

## 3月10日

政府軍		推定戦闘地及び 調査地	薩摩軍	
戦闘地等	部隊		部隊	戦闘地等
田原坂本道 田原坂本道	近歩1連1大1中 近歩1連1大3中	田原坂本道北側一帯 調査地 みかん小屋周辺 本道二ノ坂 谷村計介碑 市有地(北) 市有地(南)		



政府軍		推定戦闘地及び 調査地	薩摩軍	
戦闘地等	部隊		部隊	戦闘地等
長窪村中央 長窪山 田原左側	近歩1連2大2中 <sup>(36)</sup> 広鎮11連2大3中	豊岡台地中央部一帯 調査地 公園北半部 公園南半部 資料館下 舟底遺跡	薩2大1小 薩2大2小 薩2大6小 薩4大7小 薩5大5小 薩6大6小 薩6大7小 薩7大3小 薩7大10小	田原
二俣	東鎮豫砲兵1大 (2小隊左分隊加わる) <sup>(37)</sup>	豊岡台地北部一帯 調査地 北平古道 田原坂城跡・寺跡 熊野座神社 田原坂本道北側一帯 豊岡台地中央部一帯 豊岡台地南部一帯		
立野山(立花木) 二俣口前面田原右側 田原右翼	近歩1連1大4中  近歩1連2大1中	豊岡台地南部一帯	薩1大6小 薩6大2小 薩7大11小 佐土原1小 佐土原2小 熊本3小	七本
			薩4大6小	轟村

## 3月11日

政府軍		推定戦闘地及び 調査地	薩摩軍	
戦闘地等	部隊		部隊	戦闘地等
田原坂本道 田原坂本道 田原坂本道 田原坂本道 田原坂本道 田原坂本道 田原坂本道	近歩1連1大1中 <sup>(38)</sup> 近歩1連1大3中 <sup>(38)</sup> 近歩2連1大の1個中隊 近歩2連の1個中隊 東鎮1連の2個中隊 広鎮11連3大4中 広鎮11連2大4中	田原坂本道北側一帯 調査地 みかん小屋周辺 本道二ノ坂 谷村計介碑 市有地(北) 市有地(南)		
二俣口前面 田原中央口 二俣口前面 田原中央口 二俣口前面 田原中央口	近歩1連1大2中 近歩1連2大1中 大鎮9連1大2中	豊岡台地中央部一帯 調査地 公園北半部 公園南半部 資料館下 舟底遺跡	薩2大1小 薩2大2小 薩2大6小 薩4大7小 薩5大5小 薩6大6小 薩6大7小 薩7大10小	田原
長窪山	近歩1連2大2中			
田原坂  二俣 舟底村薩塁攻撃 二俣	(大鎮) 砲兵4大2小右 分隊1分隊 <sup>(39)</sup> (大鎮) 砲兵4大2小 1分隊 <sup>(39)</sup> 砲兵(東鎮豫砲1大) <sup>(40)</sup>	豊岡台地北部一帯 調査地 北平古道 田原坂城跡・寺跡 熊野座神社 田原坂本道北側一帯 豊岡台地中央部一帯 豊岡台地南部一帯		

政府軍		推定戦闘地及び 調査地	薩摩軍	
戦闘地等	部隊		部隊	戦闘地等
立野山（立花木） 立野山（立花木） 立野山（立花木） 二俣口 二俣口 二俣口前面七本ノ原台場 二俣口前面 右翼中央 二俣口 田原坂進撃 二俣右側横平山守線を出、前面薩塁攻撃	近歩1連1大4中 選抜狙撃隊 広鎮11連2大3中 東鎮1連3大1中 東鎮1連3大2中 近歩1連2大3中 <sup>(41)</sup> 広鎮11連3大3中 熊鎮14連2大2中 <sup>(42)</sup> 近歩1連2大4中	豊岡台地南部一帯	薩1大6小 薩3大4小 薩3大7小分隊 薩5大3小 薩5大3小 薩5大4小 薩6大2小 薩7大3小 薩7大9小 薩7大11小 佐土原1小 佐土原2小 熊本3小 熊本7小	七本
			薩4大6小	轟村から七本応援

## 3月12日

政府軍		推定戦闘地及び 調査地	薩摩軍	
戦闘地等	部隊		部隊	戦闘地等
田原坂本道 田原坂本道	近歩1連1大1中 <sup>(43)</sup> 近歩1連1大3中 <sup>(43)</sup>	田原坂本道北側一帯 調査地 みかん小屋周辺 本道二ノ坂 谷村計介碑 市有地（北） 市有地（南）		
二俣の前面左翼 二俣の前面左翼	広鎮11連2大3中 東鎮1連1大1中	豊岡台地中央部一帯 調査地 公園北半部 公園南半部 資料館下 舟底遺跡	薩2大1小 薩2大2小 薩2大6小 薩4大7小 薩5大4小 薩5大5小 薩6大6小 薩6大7小 薩7大3小 薩7大10小	田原
田原坂本道 二俣 二俣	砲兵4大2小の半分 砲兵4大2小の半分 東鎮予砲兵1大	豊岡台地北部一帯 調査地 北平古道 田原坂城跡・寺跡 熊野座神社 田原坂本道北側一帯 豊岡台地中央部一帯 豊岡台地南部一帯		
立野山（立花木） 立野山（立花木） 橘木（立花木） 七本ノ原台場 二俣口前面 二俣口右翼	近歩1連1大4中 近歩1連2大3中2分隊 熊鎮14連3大3中 <sup>(44)</sup> 近歩1連2大3中半隊 <sup>(45)</sup> 近歩1連1大2中 工兵全隊	豊岡台地南部一帯	薩1大6小 薩6大2小 薩7大11小 佐土原1小 佐土原2小 熊本3小 熊本7小 <sup>(46)</sup> 熊本4大6小 <sup>(47)</sup>	七本 轟村

## 3月13日

政府軍		推定戦闘地及び 調査地	薩摩軍	
戦闘地等	部隊		部隊	戦闘地等
田原坂本道 田原坂本道 田原坂口	近歩1連1大1中 近歩1連1大3中 (大鎮) 工兵2大1小 4分隊 <sup>(48)</sup>	豊岡台地北部一帯 調査地 北平古道 田原坂城跡・寺跡 熊野座神社 田原坂本道北側一帯 調査地 みかん小屋周辺 本道二ノ坂 谷村計介碑 市有地(北) 市有地(南)	熊5大5小 薩2大2左小半隊 <sup>(52)</sup>	田原本道右翼 田原坂本道
橘木より田原坂に進む	熊鎮14連3大3中 <sup>(49)</sup>	豊岡台地中央部一帯 調査地 公園北半部 公園南半部 資料館下 舟底遺跡	薩2大1小 薩2大6小 薩4大7小 薩5大5小 薩6大6小 薩6大7小 薩7大3小 薩7大10小 貴島2小 熊本1小	田原
田原坂本道 二俣村前面 二俣	砲兵4大2小の1分隊 砲兵4大2小の1分隊 東鎮豫砲兵1大 <sup>(50)</sup>	豊岡台地北部一帯 田原坂本道北側一帯 豊岡台地中央部一帯 豊岡台地南部一帯		
二俣口前面 二俣口前面 七本ノ原台場	近歩1連1大2中 広鎮11連2大3中 近歩1連2大3中 <sup>(51)</sup>	豊岡台地南部一帯	薩1大6小 薩2大2小半隊 薩6大2小 薩5大4小 薩7大11小 佐土原1小 佐土原2小 貴島1小 高鍋1小 高鍋2小 熊本3小	七本
			薩摩3大4小	轟村

## 3月14日

政府軍		推定戦闘地及び 調査地	薩摩軍	
戦闘地等	部隊		部隊	戦闘地等
田原坂本道 田原坂本道 田原坂台場	近歩1連1大1中 <sup>(53)</sup> 近歩1連1大4中 <sup>(54)</sup>	田原坂本道北側一帯 調査地 みかん小屋周辺 本道二ノ坂 谷村計介碑 市有地(北) 市有地(南)	薩5大5小左半隊	田原坂本道応援から、田 原坂上へ進む

政府軍		推定戦闘地及び 調査地	薩摩軍	
戦闘地等	部隊		部隊	戦闘地等
二俣より田原坂に進む 長窪村中央 長窪村前面 舟底村山腹の塁 守線	熊鎮 14 連 3 大 2 中 近歩 1 連 2 大 2 中 <sup>(55)</sup> 近歩 1 連 2 大 3 中 大鎮 8 連 3 大 1 中	豊岡台地中央部一帯 調査地 公園北半部 公園南半部 資料館下 舟底遺跡	薩 2 大 1 小 薩 2 大 2 小 薩 2 大 6 小 薩 4 大 7 小 薩 5 大 5 小 薩 6 大 6 小 薩 6 大 7 小 薩 7 大 3 小 薩 7 大 10 小	田原
二俣村 二俣村	砲兵 4 大 2 小 東鎮予砲兵 1 大	豊岡台地北部一帯 田原坂本道北側一帯 豊岡台地中央部一帯 豊岡台地南部一帯		
二俣口 二俣長窪間の水車場近傍 より、1 小隊轟村に対す る山腹に散兵、1 小隊は 山麓 七本口 本道を横断 七本口 本道を横断 七本口 本道を横断 二俣口 薩塁中央 二俣口正面 二俣口右翼の薩塁にせま る 二俣口 右側に出る 二俣口 二俣口	近歩 1 連 1 大 2 中 <sup>(56)</sup> 近歩 1 連 2 大 2 中 <sup>(55)</sup>  大鎮 8 連 3 大 2 中 <sup>(57)</sup> 大鎮 8 連 3 大 4 中 <sup>(57)</sup> 熊鎮 14 連 2 大 4 中 <sup>(58)</sup> 警視抜刀隊 東鎮 1 連 1 中 東鎮 1 連 2 中 広鎮 11 連 2 大 3 中の 1 半隊 熊鎮 14 連 3 大 1 中 工兵隊	豊岡台地南部一帯	薩 1 大 6 小 薩 1 大 7 小 薩 2 大 2 小 <sup>(59)</sup> 薩 5 大 4 小 薩 6 大 2 小 薩 7 大 4 小 薩 7 大 9 小 薩 7 大 10 小 <sup>(59)</sup> 薩 7 大 11 小 佐土原 1 小 佐土原 2 小 貴島 1 小 貴島 2 小 <sup>(59)</sup> 貴島 3 小 <sup>(59)</sup> 貴島 4 小 <sup>(59)</sup> 貴島 5 小 <sup>(59)</sup> 貴島付属砲隊 <sup>(59)</sup> 高鍋隊 1 小 高鍋隊 2 小 熊本 1 小半隊 <sup>(60)</sup> 熊本 3 小 熊本 7 小 <sup>(60)</sup> 熊本 9 小半隊 <sup>(60)</sup> 熊本 10 小 <sup>(60)</sup> 熊本 11 小 <sup>(60)</sup>	七本 七本柿木台場
			薩 3 大 4 小	轟村

## 3月15日

政府軍		推定戦闘地及び 調査地	薩摩軍	
戦闘地等	部隊		部隊	戦闘地等
内北川より進み、宮ノ前 で激戦 <sup>(61)</sup>		豊岡台地北部一帯 調査地 北平古道 田原坂城跡・寺跡 熊野座神社		抜刀にて宮ノ原より押寄 せ戦闘 <sup>(61)</sup>



政府軍		推定戦闘地及び 調査地	薩摩軍	
戦闘地等	部隊		部隊	戦闘地等
田原坂本道 田原坂本道	近歩1連1大1中 <sup>(62)</sup> 近歩1連1大4中 <sup>(63)</sup>	田原坂本道北側一帯 調査地 みかん小屋周辺 本道二ノ坂 谷村計介碑 市有地（北） 市有地（南）		
二俣前面 長窪村中央 長窪村前面 田原阜	近歩1連2大2中 <sup>(64)</sup> 近歩1連2大3中 <sup>(65)</sup>	豊岡台地中央部一帯 調査地 公園北半部 公園南半部 資料館下 舟底遺跡	薩2大1小 薩2大2小 薩2大6小 薩4大6小 <sup>(68)</sup> 薩4大7小 薩5大5小 薩6大6小 薩6大7小 貴島2小	田原
田原坂本道 二俣村 二俣村	砲4大2小隊の1分隊 砲4大2小 東鎮予砲1大 <sup>(66)</sup>	豊岡台地北部一帯 田原坂本道北側一帯 豊岡台地中央部一帯 豊岡台地南部一帯		
二俣口 二俣 七本口	近歩1連2大2中 <sup>(67)</sup> 熊鎮14連2大4中	豊岡台地南部一帯	薩1大6小 薩2大2小 <sup>(68)</sup> 薩5大4小 薩6大2小 <sup>(68)</sup> 薩7大3小 薩7大4小 薩7大9小 薩7大10小 薩7大11小 貴島1小 貴島2小 <sup>(68)</sup> 貴島3小 <sup>(68)</sup> 貴島4小 <sup>(68)</sup> 貴島5小 <sup>(68)</sup> 貴島付属砲隊 <sup>(68)</sup> 佐土原1小 佐土原2小 高鍋1小 高鍋2小 熊本1小半隊 <sup>(68)</sup> 熊本3小 熊本9小半隊 <sup>(68)</sup> 熊本10小 <sup>(68)</sup> 熊本11小 <sup>(68)</sup>	七本 七本柿木台場
			薩3大4小	轟村

## 3月16日

政府軍		推定戦闘地及び 調査地	薩摩軍	
戦闘地等	部隊		部隊	戦闘地等
谷より進み、栗ノ木平に 進撃 <sup>(69)</sup>		豊岡台地北部一帯 調査地 北平古道 田原坂城跡・寺跡 熊野座神社		宮ノ原より押下し下射 <sup>(69)</sup>
田原坂本道第一線 田原坂本道第一線 田原坂本道第一線	近歩1連1大1中 近歩1連1大3中 近歩1連1大4中	田原坂本道北側一帯 調査地 みかん小屋周辺 本道二ノ坂 谷村計介碑 市有地（北） 市有地（南）		
舟底村山腹 田原	大鎮8連3大1中 熊鎮14連3大3中 <sup>(70)</sup>	豊岡台地中央部 一帯 調査地 公園北半部 公園南半部 資料館下 舟底遺跡	薩2大1小 薩2大2小 薩2大6小 薩4大7小 薩5大5小 薩6大6小 薩6大7小 貴島2小	田原
田原口 二俣口	第1、2旅団砲隊 (東豫砲1大、砲兵4大 2小)	豊岡台地北部一帯 田原坂本道北側一帯 豊岡台地中央部一帯 豊岡台地南部一帯		
二俣口前面左側第一線 二俣口前面中央の第一線 二俣口前面中央の第一線 二俣口前面長窪村中間 第一線 二俣口前面右翼 田原阜 二俣口前面右翼 田原阜 二俣口前面右翼 田原阜 二俣口前面右翼 二俣口前面右翼 七本口	大鎮10連2大1中 近歩1連1大2中 近歩1連2大1中 近歩1連2大3中 大鎮8連3大2中 大鎮8連3大4中 大鎮11連2大2中 大鎮11連2大3中 大鎮8連3大3中 熊鎮14連2大4中	豊岡中央部一帯 豊岡台地南部一帯	薩1大6小 薩1大8小右半隊 薩5大4小 薩6大2小 薩7大3小 <sup>(71)</sup> 薩7大10小 <sup>(71)</sup> 薩7大11小 貴島1小 佐土原1小 佐土原2小 高鍋1小 高鍋2小 熊本1小右半隊 <sup>(72)</sup> 熊本3小 熊本7小	七本
			薩3大4小	轟村

## 3月17日

政府軍		推定戦闘地及び 調査地	薩摩軍	
戦闘地等	部隊		部隊	戦闘地等
田原坂本道 内2個中隊を前面に増加し、左に方向を転じ田原坂の背面を襲う	近歩1連2大4中 近歩1連1大3中(援隊) 大鎮8連3大3中	豊岡台地北部一帯 調査地 北平古道 田原坂城跡・寺跡 熊野座神社 田原坂本道北側一帯 調査地 みかん小屋周辺 本道二ノ坂 谷村計介碑 市有地(北) 市有地(南)		
田原坂本道正面 山上に達し、塁で防戦 田原坂本道 田原坂本道 田原坂本道 田原坂本道 田原坂本道 田原坂本道	近歩1連1大1中 <sup>(73)</sup> 近歩1連1大3中 警視抜刀隊(川畑隊) 東鎮3連3大1中 熊鎮14連3大1中 熊鎮14連3大4中 近歩1連1大4中 <sup>(74)</sup>	田原坂本道北側一帯	薩2大1小 <sup>(76)</sup> 薩4大7小 <sup>(76)</sup>	田原坂北手ノ松山 田原坂北手ノ松山
田原坂左翼  田原坂左翼  田原坂 攻撃 田原坂 守兵 田原坂 守兵 田原坂 守兵 田原坂 守兵 田原坂 守兵	広鎮11連3大1中左小隊 広鎮11連3大4中左小隊 広鎮11連2大3中 熊鎮14連2大2中 広鎮11連2大4中 広鎮11連3大1中 広鎮11連3大4中 近歩1連1大3中	豊岡台地中央部一帯 調査地 公園北半部 公園南半部 資料館下 舟底遺跡	薩2大2小 薩2大6小 薩5大5小 薩6大6小 薩6大7小 薩7大6小 貴島2小	田原 (田原坂本道守備) 田原 田原 田原 (田原口) 田原
田原口 二俣口	第1旅団(東豫砲1大)	豊岡台地北部一帯 田原坂本道北側一帯 豊岡台地中央部一帯 豊岡台地南部一帯		
田原阜 守保 田原坂右翼 田原坂右側 田原坂右側 左翼を迂回 田原右側 二俣口前面第一線 二俣口前面第一線 二俣口前面第一線 二俣口前面第一線 二俣口 攻撃 二俣口 守兵 二俣口 守兵 二俣口 守兵 二俣口 守兵 二俣口 守兵 二俣口 守兵 二俣口 守兵	近歩1連2大3中 <sup>(75)</sup> 大鎮8連3大1中 熊鎮14連3大4中 熊鎮14連3大4中の半隊 熊鎮14連2大2中 大鎮8連3大3中 大鎮8連3大4中 広鎮11連□大3中 警視隊 熊鎮14連3大3中の1半隊 近歩1連2大1中 近歩1連2大2中 東鎮1連2大1中 東鎮1連□大1中 東鎮1連□大2中 大鎮8連2大3中	豊岡台地南部一帯	薩1大6小 薩5大4小 薩6大2小 薩7大3小 <sup>(77)</sup> 薩7大10小 <sup>(77)</sup> 薩7大11小 貴島1小 佐土原1小 佐土原2小 高鍋1小 高鍋2小 熊本3小 熊本10小 <sup>(78)</sup> 熊本12小 <sup>(78)</sup>	七本

政府軍		推定戦闘地及び 調査地	薩摩軍	
戦闘地等	部隊		部隊	戦闘地等
二俣口 守兵 二俣口 守兵 二俣口 守兵 二俣口 守兵 二俣口 守兵 二俣口 守兵	大鎮8連3大3中 大鎮8連3大4中 大鎮9連2大2中 広鎮11連2大3中 広鎮11連3大3中 熊鎮14連3大3中 警視抜刀隊（上田隊） 大鎮9連、10連の分隊			
			薩3大4小	轟村

## 3月18日

政府軍		推定戦闘地及び 調査地	薩摩軍	
戦闘地等	部隊		部隊	戦闘地等
水本、谷、岡林、北平等 にて数十度の戦争 <sup>(79)</sup>		豊岡台地北部一帯 調査地 北平古道 田原坂城跡・寺跡 熊野座神社		水本、谷、岡林、北平等 にて数十度の戦争 <sup>(79)</sup>
田原口から二俣援兵、の ち田原坂本道 田原坂口 守兵	近歩1連1大3中 <sup>(80)</sup> 近歩1連1大4中	田原坂本道北側一帯 調査地 みかん小屋周辺 本道二ノ坂 谷村計介碑 市有地（北） 市有地（南）		
舟底村山上で防戦	近歩1連1大1中 <sup>(81)</sup>	豊岡台地中央部一帯 調査地	薩2大1小 薩2大2小 薩2大6小 薩4大7小 薩5大5小 薩6大6小 薩6大7小 貴島2小	田原
二俣口左翼 守線 二俣口左翼 守線 二俣口左翼 守線 二俣口左翼守線 前備 二俣口左翼守線 前備 二俣口左翼守線 前備 二俣口左翼守線 予備 二俣口左翼守線 予備 二俣口左翼守線 予備 二俣口左翼守線 付属	東鎮1連1大1中 大鎮8連3大4中 広鎮11連3大3中 近歩2連1大1中 東鎮1連2大1中 東鎮3連1大4中 近歩1連2大2中 東鎮1連2大3中 東鎮1連2大4中 工兵2大 <sup>(82)</sup>	公園北半部 公園南半部 資料館下 舟底遺跡		
田原坂本道 二俣村 二俣村	砲4大2小の1分隊 砲4大2小の3分隊 東豫砲1大	豊岡台地北部一帯 田原坂本道北側一帯 豊岡台地中央部一帯 豊岡台地南部一帯		
二俣口前面攻撃兵 二俣口前面攻撃兵 二俣口前面攻撃兵 二俣口前面攻撃兵 左転 左翼 田原坂正面より轟 村へ 右翼 田原坂正面より轟 村へ 二俣口前面中央の薩塁攻 撃 二俣口前面 左側 二俣口前面 中央	近歩1連1大4中 近歩1連2大3中 大鎮8連3大2中 大鎮8連3大3中 警視隊2分の1（川畑） <sup>(83)</sup> 警視隊2分の2（上田） <sup>(83)</sup> 近歩1連2大1中 近歩1連2大 大鎮8連3大3中	豊岡台地南部一帯	薩1大6小 薩2大6小 薩3大3小 薩5大4小 薩6大2小 薩7大3小 薩7大4小 薩7大10小 <sup>(85)</sup> 薩7大11小 貴島1小 佐土原1小 佐土原2小	（柿木台場）          七本



政府軍		推定戦闘地及び 調査地	薩摩軍	
戦闘地等	部隊		部隊	戦闘地等
二俣口前面 中央 二俣口前面 中央 二俣口前面 右側 二俣口薩壘攻撃 二俣口薩壘攻撃 杉樹台場（正面の一塁） 二俣口 左右翼 二俣口 左右翼 田原坂右側の山下 応援兵 二俣口前面遊軍	大鎮8連3大4中 大鎮10連2大1中 大鎮8連3大2中 東鎮1連3大1中 東鎮1連3大2中 東鎮1連の兵 大鎮9連2大2中 大鎮8連2大3中 熊鎮14連3大1中 東鎮3連3大1中	豊岡台地南部一帯	高鍋1小 高鍋2小 熊本10小 <sup>(86)</sup> 熊本11小 <sup>(86)</sup>	
立野山（立花木）二俣口 右側 七本口 二俣口前面中央 守兵 二俣口前面中央 守兵 二俣口前面中央 守兵 二俣口前面中央 守兵 二俣口前面 守兵 二俣口前面 守兵 二俣口前面 守兵 二俣口前面 守兵 二俣口前面 守兵 二俣口前面 守兵 二俣口前面 守兵 二俣口前面 守兵 二俣口前面 守兵 二俣口前面 守兵	広鎮11連2大3中 熊鎮14連2大4中 近歩1連2大3中 <sup>(84)</sup> 大鎮8連3大2中 大鎮9連1大1中 大鎮9連3大2中 近歩1連1大2中 近歩1連2大1中 近歩1連2大4中 東鎮1連1大1中 東鎮1連1大2中 大鎮8連3大4中 大鎮9連2大2中 大鎮10連2大1中 広鎮11連2大3中 広鎮11連3大3中	豊岡台地南部一帯	薩2大2小 薩3大4小 薩4大10小	轟村 二俣口

## 3月19日

政府軍		推定戦闘地及び 調査地	薩摩軍	
戦闘地等	部隊		部隊	戦闘地等
水本、谷、岡林、北平等 にて数十度の戦争 <sup>(79)</sup>		豊岡台地北部一帯 調査地 北平古道 田原坂城跡・寺跡 熊野座神社		水本、谷、岡林、北平 等にて数十度の戦争 <sup>(79)</sup>
田原坂本道	近歩1連1大4中	田原坂本道北側一帯 調査地 みかん小屋周辺 本道二ノ坂 谷村計介碑 市有地（北） 市有地（南）		

政府軍		推定戦闘地及び 調査地	薩摩軍	
戦闘地等	部隊		部隊	戦闘地等
舟底村	近歩1連1大1中	豊岡台地中央部一帯 調査地 公園北半部 公園南半部 資料館下 舟底遺跡	薩2大1小 薩2大2小 薩2大6小 薩4大7小 薩5大5小 薩6大6小 薩6大7小 薩7大3小 薩7大10小 貴島2小	田原
		豊岡台地南部一帯	薩1大6小 薩5大4小 薩6大2小 薩7大11小 貴島1小 佐土原1小 佐土原2小 高鍋1小 高鍋2小	七本
			薩3大4小	轟村

## 3月20日

政府軍		推定戦闘地及び 調査地	薩摩軍	
戦闘地等	部隊		部隊	戦闘地等
田原坂口 田原坂口 田原坂口 田原坂口	近歩1連1大3中 広鎮11連2大4中 広鎮11連3大1中 広鎮11連3大4中	田原坂本道北側一帯 調査地 みかん小屋周辺 本道二ノ坂 谷村計介碑 市有地（北） 市有地（南）	薩1大8小右半隊 薩2大1小 薩4大7小 薩5大1小 薩5大5小 薩6大2小 薩7大6小	田原坂本道 田原坂本道 田原坂本道 田原坂本道 田原坂本道 田原坂本道 田原坂本道
舟底村から植木街道（本道）、のち豊岡村駐屯	近歩1連1大1中 <sup>(87)</sup>	豊岡台地中央部一帯 調査地 公園北半部 公園南半部 資料館下 舟底遺跡	薩2大2小 薩2大6小 薩6大6小 薩6大7小 薩7大3小 薩7大10小 貴島2小	田原
二俣 二俣、田原坂	東鎮豫砲1大 <sup>(88)</sup> 砲兵4大2小 <sup>(89)</sup>	豊岡台地北部一帯 調査地 北平古道 田原坂城跡・寺跡 熊野座神社 豊岡台地北部一帯 田原坂本道北側一帯 豊岡台地中央部一帯 豊岡台地南部一帯		

政府軍		推定戦闘地及び 調査地	薩摩軍	
戦闘地等	部隊		部隊	戦闘地等
前軍 先鋒	近歩1連2大3中	豊岡台地南部一帯	薩1大6小	七本
前軍 先鋒	近歩2連2大2中		薩5大4小	
前軍 先鋒	近歩2連2大4中		薩7大11小	
前軍 先鋒	東鎮3連3大2中		貴島1小	
前軍 先鋒	大鎮9連2大4中		佐土原1小	
前軍 先鋒	熊鎮14連3大1中		佐土原2小	
前軍 先鋒	警視抜刀隊1小隊(川畑)		高鍋1小	
田原中央 援隊	熊鎮14連2大4中		高鍋2小	
左翼	熊鎮14連の1個中隊		薩3大4小	轟村
左翼に付属	大鎮工兵2大 <sup>(90)</sup>			
前軍 右翼 植木、向坂へ	近歩1連1大2中 <sup>(91)</sup>			
七本ノ原台場、のち向坂へ	近歩1連2大3中 <sup>(92)</sup>			
中軍 援隊	東鎮1連1大3中			
中軍 援隊	東鎮1連1大4中			
中軍 援隊	東鎮1連3大2中			
中軍 援隊	大鎮8連3大1中			
中軍 援隊	大鎮8連3大3中			
中軍 援隊	大鎮10連2大4中			
中軍 援隊	警視抜刀隊1小隊(上田)			
中軍、のちに植木へ	近歩1連1大4中 <sup>(93)</sup>			
後軍 予備	近歩1連1大4中			
後軍 予備	近歩1連2大1中			
後軍 予備	近歩1連2大2中			
後軍 予備	近歩1連2大4中			
後軍 予備	大鎮8連2大3中			
後軍 予備	大鎮9連1大2中			
後軍 予備	大鎮10連2大1中			
後軍 予備	熊鎮14連3大3中			
第3旅団の援軍	熊鎮14連1大の右半大隊			

## 註

- (1) 陸上自衛隊北熊本修親会『新編西南戦史』1979年、220頁
- (2) アジア歴史資料センター、Ref.C09083506100「戦闘景況 近衛歩兵第一聯隊第貳大隊第貳中隊」
- (3) アジア歴史資料センター、Ref.C09083513300「第一號戦闘略記 第一旅團東京鎮臺豫砲兵第一大隊」
- (4)、(5)、(6)、(7)、(9)、(12)、(18)、(19)、(23)、(24)、(29)、(47)、(59)、(68)、(71)、(76)、(77)、(85) 鈴木徳臣「田原坂三ノ坂における薩軍の配備状況」『熊本市の文化財第30集 田原坂Ⅲ』熊本市教育委員会2013年、21～24頁、27頁
- (8)、(35)、(46)、(60)、(72)、(78)、(86) 宇野東風『硝煙弾雨 丁丑感舊録』丁丑感舊會、1928年、42～45頁、49～50頁、53頁
- (10)、(20)、(53)、(62)、(73)、(81)、(87) アジア歴史資料センター、Ref.C09083957400「近衛歩兵第一聯隊第一大隊第一中隊戦闘日記」
- (11) アジア歴史資料センター、Ref.C09083513400、C09083513500「第一號戦闘略記 第一旅團東京鎮臺豫砲兵第一大隊」
- (13)、(52)、(57) 黒龍会本部『西南記傳 中巻一』黒龍会本部、1909年、573頁、588頁、591頁
- (14) アジア歴史資料センター、Ref.C09083957400「近衛歩兵第一聯隊第一大隊第一中隊戦闘日記」。但し、『薩南血涙史』198頁では、「3月7日に田原八幡神社に火を放つ」となっている。

- (15)、(25)、(54)、(63)、(74)、(93) アジア歴史資料センター、Ref.C09083957600「戦闘景況 出征第二旅団近衛歩兵第一聯隊第一大隊第四中隊」
- (16) アジア歴史資料センター、Ref.C09083506300「戦闘景況 近衛歩兵第一聯隊第貳大隊第貳中隊」
- (17) アジア歴史資料センター、Ref. C09083513500「第一號戦闘略記 第一旅団東京鎮臺豫砲兵第一大隊」
- (21) 加治木常樹『薩南血涙史』青潮社、1998年、「第八節二俣の戦」「第四編第一章木留方面」203頁
- (22)、(27) アジア歴史資料センター、Ref.C09083513600「第一號戦闘略記 第一旅団東京鎮臺豫砲兵第一大隊」
- (26)、(31)、(42)、(44)、(49)、(58)、(70) 日本史籍協會『熊本鎮臺戦闘日記二』財団法人東京大學出版會、1977年覆刻、77～79頁、83～85頁、91頁
- (28)、(41)、(45)、(51)、(65)、(75)、(84)、(92) アジア歴史資料センター、Ref. C09083963300「戦闘景況 近衛歩兵第一聯隊第二大隊第三中隊」
- (30)、(38)、(43)、(80) 全国近歩一会『明治十年西南ノ役 近衛歩兵第一聯隊第一大隊戦闘日誌』1933年複写、1997年復刻、7～8頁、10頁